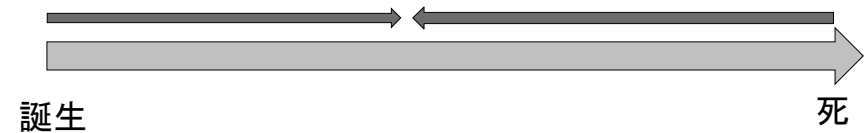


## 子どもの発達に寄り添った支援

発達支援feel西明石  
伊原舞

## はじめに



## 発達とは...

生まれてから大人になるだけではなく、  
生まれてから死ぬまですべてを含めた過  
程のこと。

人は生涯を通して変化・成長していく

## 子ども達が今どの段階にいるのかをみること

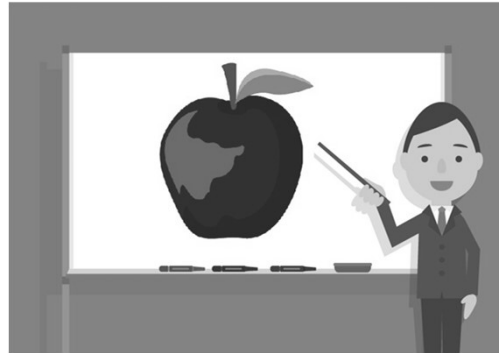
能力がある？  
能力がない？



できる？  
できない？

## 「これはなんですか？」

- ・ 答えられる
- ・ 答えられない



## 「リンゴ」と答えられる子

- ・ リンゴの絵カードを注目する
- ・ リンゴを知っている
- ・ 相手が今それについて聞いていることに気付く
- ・ 「リ・ン・ゴ」と発音する

⇒ 「答えられる」 = 「わかる」ということ

## 「リンゴ」と答えられない子

- ・ 絵カードを見ずに走りまわっている
- ・ こちらの質問の意図がわかっていないので違うことをする
- ・ 絵カードを見たが話さない
- ・ 「バナナ」と答える

## 理由に合わせた支援の方法

「見て」の声かけに応答できない場合



相手・相手の意図に気付かない場合  
ことばの意味を理解できていない場合



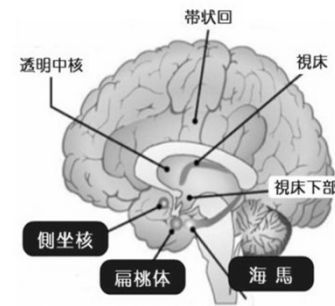
間違って覚えてしまっている場合

対応の方法は・・・

・「リンゴ」を「リンゴ」として教えるだけでは意味はありません。



大脳機能として

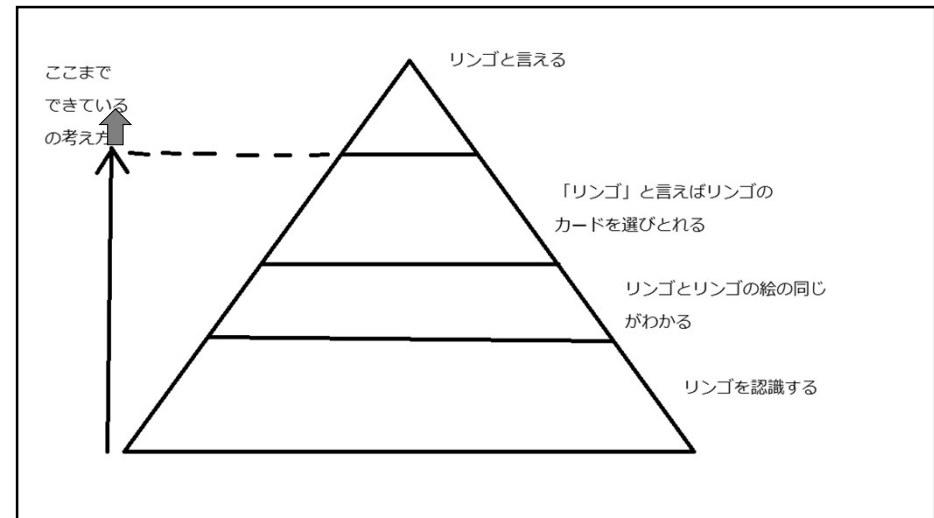


海馬...記憶を司る  
扁桃体...感情を司る

## 理解を深めるために...

- ・どこまで理解できているのか
- ・どのように理解しているのか
- ・何を伝えようとしているのか
- ・なぜそのように行動しているのか

「何が」できないのかよりも  
「なぜ」むずかしいのかが大事



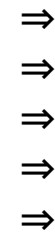
## 発達を考えると... ..

どの段階までできているのかをみるもの  
できることを見つけること！



## 耳で聞くことが難しい場合

### 支援の例



## 話をすることが難しい場合

### 支援の例

⇒  
⇒  
⇒  
⇒

## 頭の中で理解する時に難しい場合

### 支援の例

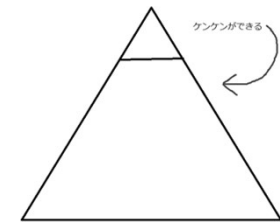
⇒  
⇒  
⇒  
⇒

## 発達を考える～身体編～

年長さんのAくんのお母さんから、  
ケンケンパーができませんという相談を受けました。



- ・片足立ちができる
- ・グッパーができる
- ・ジャンプして前に進むことができる
- ・ジャンプができる



ケンケンパーをするには・・・

片足立ち(バランスをとる)  
ジャンプする  
前に進む  
パーで足を開く  
という動きの組み合わせです



ケンパーができるまで

- ⇒ 歩く
- ⇒ ジャンプする(その場跳び)
- ⇒ ジャンプする(前に進む)
- ⇒ グッパー跳び
- ⇒ 片足立ち(バランス)
- ⇒ 片足から踏み切ってパー
- ⇒ ケンパー

「やってみたい！」を育てる

隣について見守る大切さがある。

「隣にいるね」

「大丈夫だよ、見てるよ」の姿勢



ちょっとやってみようかな。  
ちょっと頑張ってみようかな。  
失敗しても大丈夫。

ダメなら違う方法を試してみる  
挑戦する力  
前に進んでいく力



を身に付けていくことが、子どもにとって大切な力です。